

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 3 区分
 【発行日】平成30年10月11日 (2018.10.11)

【公開番号】特開2018-132296(P2018-132296A)
 【公開日】平成30年8月23日 (2018.8.23)
 【年通号数】公開・登録公報2018-032
 【出願番号】特願2018-104229(P2018-104229)
 【国際特許分類】

F 2 5 D 23/00 (2006.01)

F 2 5 D 25/00 (2006.01)

【F I】

F 2 5 D 23/00 3 0 2 J

F 2 5 D 23/00 3 0 2 L

F 2 5 D 25/00 F

【手続補正書】
 【提出日】平成30年7月23日 (2018.7.23)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

引出式の貯蔵室容器と、

該貯蔵室容器を前側空間と後側空間とに区切る仕切り部と、

前記後側空間を上側空間と下側空間とに区切る面と、

水蒸気を放出する水分吸蔵放出部材と、

前記上側空間と前記下側空間との間で空気を流通させる空間連通部と、を有し、

前記水分吸蔵放出部材は、前記後側空間に配され、

前記貯蔵室容器を引き出した際、前記上側空間及び / 又は前記下側空間が覆われた状態で前記前側空間を外部に開放可能であることを特徴とする冷蔵庫。

【請求項 2】

前記貯蔵室容器を引き出した際、前記上側空間及び前記下側空間が覆われた状態で前記前側空間を外部に開放可能であることを特徴とする請求項 1 に記載の冷蔵庫。

【請求項 3】

前記水分吸蔵放出部材は、前記後側空間の後端側から前方に向かって配されており、

前記前側空間を外部に開放した状態でも、前記水分吸蔵放出部材は、前記後側空間の少なくとも一部を覆った状態であることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の冷蔵庫。

【請求項 4】

前記面は、引出及び収納が可能な容器の下面であり、

前記下面の前端側が前記仕切り部に載置可能であり、

前記空間連通部は、前記容器の前端側に位置することを特徴とする請求項 1 乃至 3 何れか一項に記載の冷蔵庫。

【請求項 5】

前記後側空間は、前記貯蔵室容器の内外を空気が流通可能な内外連通部を有することを特徴とする請求項 1 乃至 4 何れか一項に記載の冷蔵庫。

【請求項 6】

前記下側空間の一部を囲む下段容器の壁に配された蒸散ボードと、

該蒸散ボードに冷気を吹き付ける冷気供給調整手段を有することを特徴とする請求項 1 乃至 5 何れか一項に記載の冷蔵庫。

【請求項 7】

前記蒸散ボードは、該蒸散ボードよりも面積が大きい吹き付け面を有する蒸散ユニットカバーに配されていることを特徴とする請求項 6 に記載の冷蔵庫。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明者らは前記課題を解決するべく鋭意検討を行った。その結果、
引出式の貯蔵室容器と、

該貯蔵室容器を前側空間と後側空間に区切る仕切り部と、

前記後側空間を上側空間と下側空間とに区切る面と、

水蒸気を放出する水分吸蔵放出部材と、

前記上側空間と前記下側空間との間で空気を流通させる空間連通部と、を有し、

前記水分吸蔵放出部材は、前記後側空間に配され、

前記貯蔵室容器を引き出した際、前記上側空間及び／又は前記下側空間が覆われた状態で前記前側空間を外部に開放可能であることで、前記課題を解決できることを見出した。